

# 鶯と日本人

鶯(ウグイス)は日本人になじみの小鳥。春先になりウグイスの「ホーホケキョ」の声を聞くと春が来た…と感じるものです。

気象庁は2017年3月6日に東京でウグイスの初鳴きが観測されたと発表しています。

我々日本人の感覚では、ウグイスは春先にやってきて、美しい声で鳴く…ウグイスの到来とその声、ホーホケキョを春の兆しとらえている人が多いと思います。

ウグイスは留鳥で、燕のようにどこか遠くからやってくるような小鳥ではなく、家の近くにたむろしている小鳥なのです。

燕は春先に数千キロ離れたマレーシアなどの東南アジアから子育ての為に日本にやってき、軒先に巣を作り、子づくりをします。

日本人のかなりの人はウグイスとメジロを見間違えているようです。ウグイスは茶褐色をして目立たないだけではなく、非常に臆病で、普段は一年中、笹の藪の中などで生活し、めったに人の目につか所にいるのです。

春先、ホーホケキョのにぎやかな声を聴き、梅の木を見ているとメジロが花をくちばしでつついている様をみて、春先のウグイだ…思っている方が大半なのです。

普段のウグイスはチャ、チャ、チャ…と鳴いていてあまり目立たない鳴き声なのです。体の色も鳴き声も目立たないのです。

ウグイスは一夫多妻で子孫を残している鳥です。春先、ホーホケキョと鳴くのは雄のウグイスだけで、雌のウグイスはホーホケキョと鳴きません。

春先はウグイスの繁殖の時期で、雄のウグイスが自分の縄張りを主張するときと、子育てをしている雌に対し安全を知らせるときの鳴き声が、ホーホケキョなのです。侵入者がいて、そのものに対し威嚇するときの鳴き声はケキョ、ケキョ、ケキョ…なのです。雌は雄の声を聴き分け、警告が出た場合は巣から出て身を守るのです。



ウグイス

地味な茶色、目立たない



メジロ

ウグイス色のメジロ、目立つ

